



ふじ市の製紙

②

紙と生きる

私達が、ふだんなにげなく使っている白くてきれいな紙。紙は昔から

こんなにきれいだったんでしょうか
柏森貞助（かやもりていすけ）さんが、富士市にはじめて手すきの和紙工場をたてたのは、明治12年のことです。

貞助さんはより白い紙を作ろうと、いままでの石灰や木灰のかわりにカ性ソーダを使いました。このころカ性ソーダは輸入品でねだんも高かったため、収入よりも支出の方が多くなって、さいさんがとれませんでした。

明治20年、芦川万次郎（あしかわ

明治20年、芦川万次郎（あしかわまんじろう）さんも工場をたてました。場所は、今泉のいずみ町です。ここは、紙づくりに欠かせない水があちこちからわきでていました。

万次郎さんもまた、きれいな紙を作ろうといろいろ工夫しました。万次郎さんが考えたのは、紙をかわかすかんそう機です。

いままでの紙は、天日でかわかしていましたが、曇の日には紙は、ぼけてツヤがなくなっていました。かんそう機があれば、天気に関係なくいつもきれいな紙が作れます。

今でも製紙工場では、万次郎さんの考えたかんそう機を改良して使っているのです。



運動会って大すきさ

ふじやま・くすの木・そびなの運動会は、朝からよいお天気の10月21日でした。

くすの木さんちのツトム君やおよ

げたいやく君、走れ！ハイセイコーなどおもしろい種目がいっぱい。

思いきり体を動かしたから、みんなの顔はマッカッカー。



かぜに負けるな
だいぶ寒くなつてきました。カゼをひいている子はいないかな。
「今年は大丈夫。だってインフルエンザの予防注射をしたんだもん」
でも、インフルエンザのワクチンは、カゼの予防にあまりききめはないんです



-12-

カゼをひきおこすウイルスには、たくさんの種類がありますから、ほかのインフルエンザウイルスにかかれば、予防注射をしてあつてもききめはありません。
予防注射より大切なのはカゼのウイルスが体の中に入ってきたら、それに負けない丈夫な体にしておくことです。それには……
●うす着になれよう。
●太陽のしたで運動しよう。
●なんでもよく食べよう。
子どもは、風の子です。



穆清 剣道少年団

「こんにちわ市長さん、連続優勝ですよ」と、穆清（ぼくせい）剣道スポーツ少年団員が市長を訪問しました。

第8回県下少年剣道大会は、52チームが参加して静岡大学の体育館で争われました。

穆清チームは、6戦全勝のみごとな成績でまた、個人戦大将の部でも秋山英樹くんは準優勝でした。

